



栗田工業株式会社

2023年3月期 第3四半期
決算説明会

(証券コード：6370)

2023年2月3日

- 1** | 2023年3月期 第3四半期実績 p 1 -10

- 2** | 2023年3月期 業績見通しの修正 p11-13

1 | 2023年3月期 第3四半期実績

(単位：億円)		2021/12期	2022/12期	前年同期比
受	注 高	2,188	2,881	+ 31.6%
売	上 高	2,112	2,517	+ 19.2%
事	業 利 益	252	284	+ 12.6%
そ	の 他 の 収 支	3	△ 7	—
営	業 利 益	255	277	+ 8.3%
税	引 前 四 半 期 利 益	208	290	+ 39.4%
親	会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 四 半 期 利 益	120	201	+ 67.5%
基本的1株当たり四半期利益 (円)		107.08	179.28	—
為 替 レ ー ト	USD (円)	111.1	136.5	
	EUR (円)	130.6	140.6	
	CNY (円)	17.3	19.9	

- 税引前四半期利益以下の利益は、ペンタゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得に伴う金融収支の影響により大幅増益（今期：デリバティブ取引差益+11億円、前期：非支配株主と締結した株式の先渡契約に係る負債の事後測定による費用△46億円）。

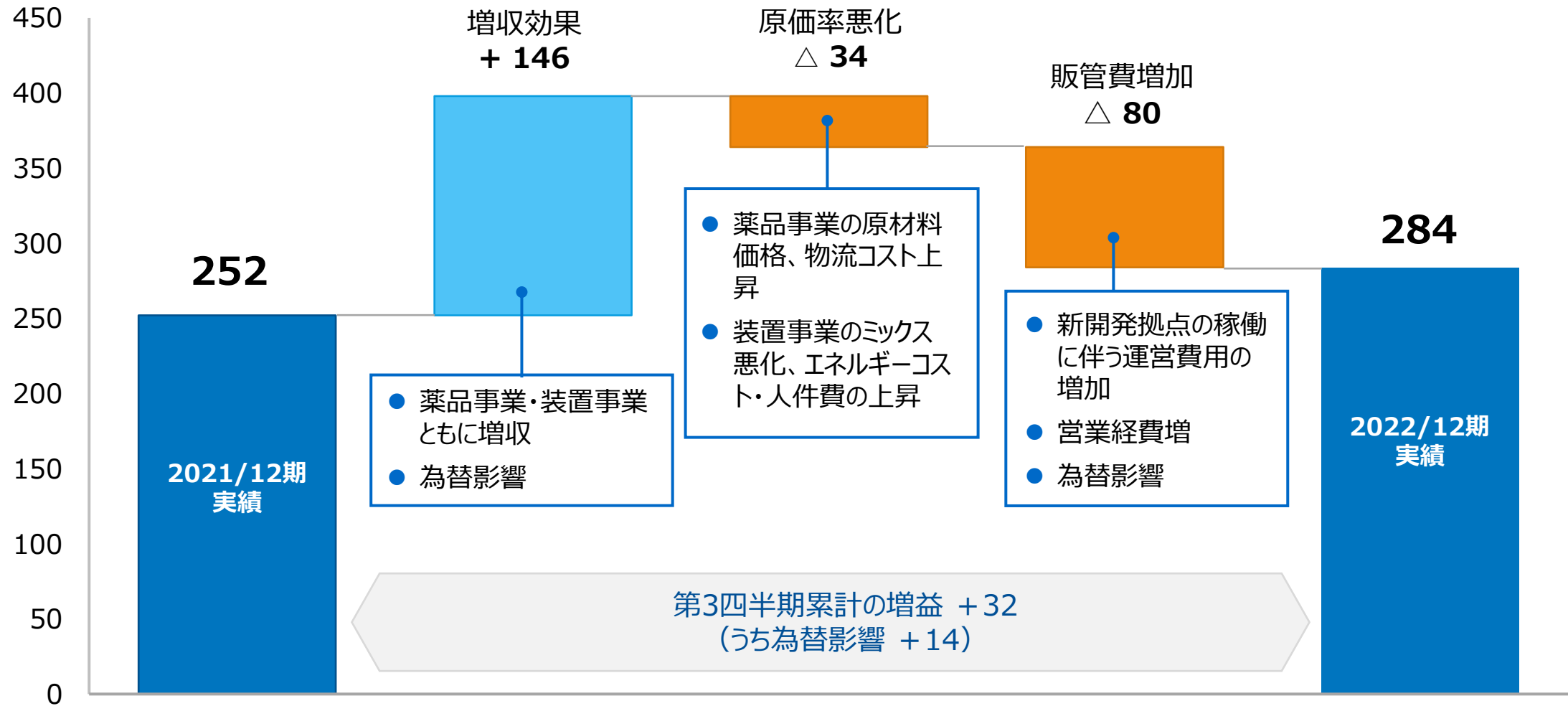
セグメント別の実績

(単位：億円)		2021/12期	2022/12期	前年同期比
全社	受注高	2,188	2,881	+ 692
	売上高	2,112	2,517	+ 405
	事業利益	252	284	+ 32
	事業利益率	11.9%	11.3%	△ 0.7pp
	営業利益	255	277	+ 21
水処理薬品事業	受注高	876	1,025	+ 149
	売上高	879	1,029	+ 151
	事業利益	108	124	+ 16
	事業利益率	12.3%	12.1%	△ 0.3pp
	営業利益	111	123	+ 12
水処理装置事業	受注高	1,312	1,855	+ 543
	売上高	1,234	1,488	+254
	事業利益	144	160	+ 16
	事業利益率	11.7%	10.7%	△ 0.9pp
	営業利益	144	154	+ 10

- 水処理薬品事業は主に海外における事業の伸長により増収増益。
- 水処理装置事業の受注高は、国内外の装置およびメンテナンスの受注増により増加。
- 水処理装置事業の売上高は、国内一般産業向けで減収も、国内電子産業向けおよび海外が増収。
- 水処理装置事業の事業利益は、増収効果が販管費の増加と原価率の悪化の影響を上回り増益。

事業利益の増減要因（前年同期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2021/12期	2022/12期	前年同期比
受注高	876	1,025	+ 149
国内	322	323	+ 1
海外	554	702	+ 148
売上高	879	1,029	+ 151
国内	325	327	+ 2
海外	554	702	+ 148
事業利益	108	124	+ 16
事業利益率	12.3%	12.1%	△ 0.3pp
営業利益	111	123	+ 12

- 国内は、一部業種におけるコロナ影響や半導体不足の影響の継続により、前年同期比でほぼ横ばい。
- 海外は、原材料価格の上昇を受けた販売価格の見直しやCSVビジネスの展開、為替換算額増加により増収。
- 事業利益は、増収効果が販管費の増加と原価率悪化の影響を上回り増益。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2021/12期	2022/12期	前年同期比
アジア	200	236	+ 36
北南米	174	245	+ 71
EMEA	180	221	+ 42
合計	554	702	+ 148

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 59
為替影響	+ 89

水処理装置事業（国内電子産業向け）

（単位：億円）	2021/12期	2022/12期	前年同期比
受注高	479	614	+ 135
装置	43	112	+ 68
メンテナンス	130	152	+ 22
超純水供給事業	232	279	+ 47
精密洗浄	73	71	△ 2
売上高	473	560	+ 87
装置	43	74	+ 31
メンテナンス	125	137	+ 12
超純水供給事業	232	279	+ 47
精密洗浄	72	70	△ 2

- 装置の受注高は、大型案件の受注により増加し、売上高も受注済み案件の工事進捗により増加。
- メンテナンスは、大型案件を中心に受注が堅調であり、受注高、売上高ともに増加。
- 超純水供給事業は、新たに供給を開始した案件の寄与により受注高、売上高ともに増加。
- 精密洗浄は、顧客工場の稼働状況の影響を受け、前年同期を若干下回る。

水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2021/12期	2022/12期	前年同期比
受注高	374	425	+ 50
エネルギー・インフラ	323	375	+ 51
土壌浄化	30	34	+ 5
その他	21	16	△ 6
売上高	373	356	△ 17
エネルギー・インフラ	323	307	△ 16
土壌浄化	28	33	+ 5
その他	21	16	△ 5

- エネルギー・インフラの受注高は、一般産業向けのメンテナンスおよび装置での大型案件受注により増加。
- エネルギー・インフラの売上高は、一般産業向けメンテナンスが増加するも、電力分野向けおよび一般産業向け装置が減少し減収。
- 土壌浄化は、中小規模の案件の需要を取り込み、受注高、売上高ともに前年同期を上回った。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2021/12期	2022/12期	前年同期比
受注高	459	816	+ 357
装置	205	495	+ 290
メンテナンス	120	148	+ 28
超純水供給事業	24	27	+ 3
精密洗浄	109	146	+ 37
売上高	389	572	+ 184
装置	147	270	+ 123
メンテナンス	108	130	+ 21
超純水供給事業	24	27	+ 3
精密洗浄	109	146	+ 37

- 中国、韓国では、半導体を中心とした電子産業における旺盛な投資を背景に、受注高、売上高が増加。
- 中国、韓国における大型案件の受注により、受注高は、通期見通しを上回るペースで進捗。

地域別売上高

（単位：億円）	2021/12期	2022/12期	前年同期比
アジア	223	357	+ 134
北南米	165	216	+ 50
合計	389	572	+ 184

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 109
為替影響	+ 75

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2021/12期	2022/12期	前年同期比
水処理薬品事業	879	1,029	+ 151
水処理装置事業	993	1,117	+ 124
超純水供給事業	257	306	+ 50
国内精密洗浄	72	70	△ 2
海外精密洗浄	109	146	+ 37
土壌浄化	28	33	+ 5
国内メンテナンス	403	417	+ 14
海外メンテナンス	108	130	+ 21
その他	16	16	△ 1
合計	1,872	2,146	+ 275

- 水処理薬品事業は、海外における事業の伸長により増収。
- 水処理装置事業は、超純水供給事業や海外精密洗浄、国内外メンテナンス等が増加。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2021/12期	2022/12期	前年同期比
設備投資額（有形*）	473	353	△ 120
水処理薬品事業	89	53	△ 37
水処理装置事業	383	300	△ 83
減価償却費（有形*）	147	189	+ 42
水処理薬品事業	32	35	+ 3
水処理装置事業	115	154	+ 39
研究開発費	38	47	+ 9
水処理薬品事業	12	14	+ 2
水処理装置事業	26	33	+ 7

* 使用権資産含む。

- 設備投資は、新開発拠点関連の投資があった前年同期と比べると減少。
- 超純水供給事業の設備投資は前年同期並み。
- 減価償却費は、超純水供給事業における新たな水供給の開始、新開発拠点の稼働に伴い増加。
- 研究開発費は、新開発拠点の稼働に伴い増加。

財政状態

(単位：億円)	2022年3月末	2022年12月末	増減
現金及び現金同等物	457	483	+ 25
その他流動資産	1,327	1,430	+ 103
流動資産合計	1,784	1,913	+ 129
有形固定資産	1,610	1,751	+ 140
のれん	630	673	+ 43
その他非流動資産	676	622	△ 53
非流動資産合計	2,916	3,046	+ 130
資産合計	4,700	4,959	+ 259
流動負債	1,139	1,049	△ 91
非流動負債	782	967	+ 185
負債合計	1,921	2,015	+ 94
親会社の所有者に帰属する持分	2,719	2,918	+ 199
非支配持分	59	26	△ 34
資本合計	2,779	2,944	+ 165
負債及び資本合計	4,700	4,959	+ 259

- 主に超純水供給事業用設備の取得に伴い有形固定資産が増加。
- のれんの増加は、為替影響が主因。
- その他非流動資産の減少は、投資有価証券の一部売却が主因。
- 流動負債は、コマーシャル・ペーパーの発行により増加したものの、ペンタゴン・テクノロジーズ社に係るその他の金融負債等の減少により減少。
- 非流動負債は、社債発行および新規借入により増加。

2 | 2023年3月期 業績見通しの修正

業績見通しの修正点

- 国内電子産業向けおよび海外における装置の受注状況を踏まえて、受注高の見通しを上方修正。
- 受注増加分の年度内の売上計上が限定的であることから、売上高、利益については前回見通しを据え置く。

(単位：億円)		前回見通し (10/31発表)	2023/3期 見通し	前回見通し比	2022/3期 実績
受注高		3,650	3,750	+ 100	3,152
売上高		3,500	3,500	—	2,882
事業利益		390	390	—	329
その他の収支		△ 10	△ 10	—	28
営業利益		380	380	—	357
税引前当期利益		390	390	—	301
親会社の所有者に帰属する当期利益		276	276	—	185
1株当たり当期利益 (円)		245.56	245.56	—	164.38
為替レート	USD (円)	136.0	136.0	—	112.4
	EUR (円)	140.0	140.0	—	130.6
	CNY (円)	20.0	20.0	—	17.5

セグメント別の見通し

(単位：億円)		前回見通し (10/31発表)	2023/3期 見通し	前回見通し比	2022/3期 実績
全社	受注高	3,650	3,750	+ 100	3,152
	売上高	3,500	3,500	—	2,882
	事業利益	390	390	—	329
	事業利益率	11.1%	11.1%	—	11.4%
	営業利益	380	380	—	357
水処理薬品事業	受注高	1,365	1,365	—	1,184
	売上高	1,360	1,360	—	1,177
	事業利益	157	157	—	136
	事業利益率	11.5%	11.5%	—	11.5%
	営業利益	157	157	—	146
水処理装置事業	受注高	2,285	2,385	+ 100	1,968
	売上高	2,140	2,140	—	1,705
	事業利益	233	233	—	194
	事業利益率	10.9%	10.9%	—	11.4%
	営業利益	223	223	—	212

水処理装置事業の修正の内訳

● 国内電子産業向け

(単位：億円)	前回見通し (10/31発表)	2023/3期 見通し	前回見通し比	2022/3期 実績
受注高	765	785	+ 20	867
装置	107	127	+ 20	255
メンテナンス	188	188	—	201
超純水供給事業	373	373	—	315
精密洗浄	96	96	—	96

● 海外

(単位：億円)	前回見通し (10/31発表)	2023/3期 見通し	前回見通し比	2022/3期 実績
受注高	889	969	+ 80	660
装置	456	536	+ 80	325
メンテナンス	181	181	—	151
超純水供給事業	35	35	—	32
精密洗浄	217	217	—	151



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している商標（製品、サービス、ロゴ）は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。